

第 4 回 榎原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会 会議録

日 時：	令和 2 年 12 月 1 日（火）10：00～12：00				
場 所：	大和信用金庫八木支店 3 階第 1 会議室				
出席者：	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">委 員</td> <td>天根会長、重松委員、松井委員、佐伯委員、榎谷委員、米川委員、柿本委員、辰巳委員、廣井委員、戌亥委員、松本委員、森嶋委員、井上委員</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">事 務 局</td> <td>事務局：教育長、吉田部長、藤井部長、加護副部長、栗原副部長、北野副部長、吉川課長、太田課長、森下指導主事、上島課長、中渡指導主事 上田勝己課長補佐、上田のぶ子課長補佐、長谷川課長補佐、井岡指導主事、宮西主査、東浦主査 長大：依田</td> </tr> </table>	委 員	天根会長、重松委員、松井委員、佐伯委員、榎谷委員、米川委員、柿本委員、辰巳委員、廣井委員、戌亥委員、松本委員、森嶋委員、井上委員	事 務 局	事務局：教育長、吉田部長、藤井部長、加護副部長、栗原副部長、北野副部長、吉川課長、太田課長、森下指導主事、上島課長、中渡指導主事 上田勝己課長補佐、上田のぶ子課長補佐、長谷川課長補佐、井岡指導主事、宮西主査、東浦主査 長大：依田
委 員	天根会長、重松委員、松井委員、佐伯委員、榎谷委員、米川委員、柿本委員、辰巳委員、廣井委員、戌亥委員、松本委員、森嶋委員、井上委員				
事 務 局	事務局：教育長、吉田部長、藤井部長、加護副部長、栗原副部長、北野副部長、吉川課長、太田課長、森下指導主事、上島課長、中渡指導主事 上田勝己課長補佐、上田のぶ子課長補佐、長谷川課長補佐、井岡指導主事、宮西主査、東浦主査 長大：依田				
欠席者	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">委 員</td> <td>中井委員</td> </tr> </table>	委 員	中井委員		
委 員	中井委員				
資料：	委員名簿（令和 2 年度 6 月版） 資料 01_対応策実施の効果と課題及び実施手順（案） 資料 02_パブリックコメント実施（案） 資料 03_今後の検討スケジュール				
1. 開会	開会挨拶				
2. 議事	資料確認、司会交代、傍聴入場 議事				
会長	<p>前回の会議では適正配置のための対応策として 5 つを挙げ、できるものから取り組んでいく。5 つを並列に考えていても間に合わなくなるかもしれないので、考え方としては、並列的に捉えるものではなく総合的に考えていこうとのまとめであったと思います。</p> <p>具体案についてはこれからですが、5 つの対応策は急ぐべきもの、あるいは実施しやすいものから取り組み、早く方向性を固めていく必要があるのではないかとこのことでした。</p> <p>具体的な内容については本日の会議からの検討となりますので、そのあたりのメリット、デメリットも含めてお話をいただきながら、皆さん方からのご意見をお聞きし、事務局で再考していただけたらと思います。</p> <p>それでは審議に入ります。まず、対応策実施の効果と課題及び実施の手順についてという項目につきまして、事務局からお話をいただけたらと思います。</p>				
事務局	資料説明 【資料 01_対応策実施の効果と課題及び実施手順（案）】				
会長	<p>5 つの対応策は前回の審議でご承認いただいたということ、そして 3 歳児保育と預かり保育については来年から先行して実施したいという提案がございました。</p> <p>このあたりについて、皆さん方のご意見をお聞きしたいと思います。</p>				

	<p>5つの対応策については、こういうメリット、デメリットもありますよという話を出していただけたらと思います。</p>
委員	<p>3歳児保育と預かり保育について来年の4月から開始する運びになっているようですが、公立幼稚園での3歳児保育、預かり保育の拡充について、私立の保育園の事業者としてあえて発言させていただきます。</p> <p>少子化が進む中で、我々事業者は、これから先10年後、20年後いろんな心配をしております。その中で、公立保育園で3歳児保育をしていくということは、我々私立事業者にとっては、決してメリットではない部分があります。その点だけは申し上げたいと思います。預かり保育に関しても同じことです。</p> <p>ちょうど今、来年度に向けて園児募集をしています。ニーズは0歳、1歳、2歳に集中していて、3歳児以上というのはそんなにいないというのが私の受け止め方です。その中で、あえて3歳児保育を公立で実施していただく必要があるのかなというのが少し疑問に思います。</p> <p>また、12月の議会にも掛けると今お話が出ましたけれども、それも少し唐突な感じがしています。</p>
会長	<p>私学運営の立場でご意見を頂きましたが、いろんな立場があろうかと思しますので、続けてご意見をお願いします。</p>
委員	<p>私立幼稚園の立場から発言します。私もこの方向性で進めるということには納得していましたが、いきなり令和3年からの実施ということについては、反対させていただきます。理由としては、過去に田原本町で公立が3歳児保育を始めた後に、私立の幼稚園で1クラス減りました。経営的に言わせていただくと、公立の3歳児保育の実施を行うと、私立の園児数は減る可能性があります。</p> <p>あと、ここに2人幼稚園と保育園代表が座っていますが、ただ座ってるだけではないかと感じています。我々の意見を求められて、何か言わなければならないということを目指していましたが、もう決定した話の中で代表者がいるから、説明はしたよと、ただ形として座っているだけという雰囲気が出てしまいません。</p> <p>我々の立場として言わせていただければ、今ではもう3歳では手につかないから、2歳もターゲットにしている幼稚園もあります。</p> <p>そういう中で、話として出ることは必要なことだろうと思っていましたが、もう少し丁寧に説明しておいてほしかったなと思います。</p> <p>12月議会でしたら、今月です。いつもよくあります。私は保育園も経営していますが、榎原市はいつも唐突です。</p> <p>もう出来上がって、あなたたちは聞いていたでしょう、代表として出ているでしょう、だからもう始めますと、極端な話、3月の末あたりに、もう4月からこうしますということがよくあります。榎原市にいつもやられます。なら、何も意見言え</p>

	<p>ないし、こうしてほしいとも言えない。実施するのであれば聞いていただくというか、ほかの方にも知っていただかなければならないと思います。</p> <p>それは十分配慮して進めていっていただきたいと私は思います。</p> <p>私は子どもを保育園と幼稚園に預けて働く保護者の立場、そして反対に受け側の幼稚園や保育園で働いていただいている先生方の立場から意見を伝えます。</p> <p>まずは、預けるほうからしますと、この3歳児保育と預かり保育につきましては、預ける幅が広がるという意味では進めていただきたいと思います。</p> <p>ただ、今お話がありました令和3年度から始める計画については、預ける側からしますと、安心して安全に預けたいという気持ちがありますので、設備の問題、特に12月に入りまして、第3波のコロナウイルスの問題が広がっております。それらも含めまして、来年3月に感染対策を含めて設備が整うのかどうか。設備が整っていないのに、見切り発車で令和3年度には始めて、もし問題が起きますと、反対にお子さんや保護者の皆様にまた迷惑がかかってしまうこととなりますので、その点は十分気をつけて進めていただきたいと思っております。</p> <p>一方、働く先生方の立場からお話をさせていただきますと、一般的にテレビやニュースで言われているのは、保育園の先生、幼稚園の先生が不足しているというお話です。10園中3園から3歳児保育を進めていくということですが、それに対しまして、先生の確保。来年度4月からもし始めるとすれば、もう先生方の募集を確実にしておく必要があるかと思えます。臨時職員か正規職員かということもありますが、臨時職員に限りまして、急に言って本当に人が集まるのかという問題点があります。</p> <p>あと、先ほども言いました設備の問題では、3園が始まるようになってくると、それぞれ教室、エアコンの問題が整うのかということ、それに対して市の予算がきちっとつけられているのかという点が懸念されます。それも12月議会をこれから始めていって、通して4月実施となってくると、時間的な余裕がないので、ちょっと見切り発車になってしまうことが懸念されます。</p> <p>あと、実際にそれを4月から開園して、もう民間の募集は終わっているという中で、市民に公開して募集したところで、どれだけ周知されるのかという点がちょっと懸念されます。</p>
委員	<p>今のご意見と同じですが、今も待機児童が200名を超えているという中で、3歳児の保育も始める。ハードとソフト面がそろって初めてスタートできるものであって、いきなり3歳児を預かろうというのはどうかと単純に思います。</p> <p>ただ3歳児保育を始めようという、この考え方についてはすごくいいなど。これは別に反対するものでもありませんが、今すぐほんとにできるのかと、疑いがあります。また、いつどこでどうやって実施が決まったのかと気になるところです。</p>

<p>委員</p>	<p>自分も感じていることですが、皆さんがおっしゃっていることを聞いて、そのとおりだと私も思います。榎原市は、私立の保育園、幼稚園とかなり良い協力関係でやってきたはずだと思っていますが、これまでの話を聞いたところ私立との協議については全くないのかなという気がします。</p> <p>やることについて否定的な意見を言うつもりはありませんが、歴史をちゃんと見ていただかないと、今までの良い関係を切って捨てるようなことになります。</p> <p>それに加え、これほど大きく一気に話が進むこと。前回9月から3か月で、残りあと100日足らずで開園したい、しかもできるところから。幼児教育であるならば、やはり公平性というのは担保しなきゃいけないのではないかと思います。</p> <p>また、この12月に予算が出てきますが、順序がおかしいと思います。委員会で意見をきちっと議論して、その上で答申が上がって、その答申をもって議会に上がってくる。言うなれば、これはトップダウンで話を進めているのではという気がします。</p> <p>それと、その意思決定プロセスをいつ誰がどこで決めたのか、お答えください。</p>
<p>会長</p>	<p>いろんな立場でのご意見がございました。事務局のほうで何かご意見、あるいはご質問等に関わってご意見ございますか。</p> <p>審議会云々の話につきましては、これはどこが悪い、ここが悪いというよりも、我々の意思を確認しながら、諮問に対する提言をするそれぞれのご意見として言わなければならないということで、それだけはしっかりしておきましょう。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、ハード面の準備ですが、保育室・トイレ・倉庫等については、先の3園において十分確保できております。空調・備品関係は補正予算にて4月まで対応できる見込みです。</p> <p>感染予防対策については、消毒液等の十分な確保ができておりますので、問題ないと考えております。</p> <p>駐車場についても場所の確保があります。整備がきちりできておりませんが利用はできる状況です。</p>
<p>会長</p>	<p>これまでの委員会の中で、3歳児保育についての榎原市の歴史等々を踏まえた中でどうなのかと議論していただきました。その中で事務局の説明から、現在、私学に通っている子どもたちを引いた残りの3歳児がいる。その人数を受け入れていく必要があるということから対応策が出てきたと思っています。</p> <p>さらに、保護者からの希望もあるので、できるだけ早くやりたいという状況であったかと思っています。</p> <p>こういった経緯からハードの話にもなっていると思いますが、本質的な部分として委員からの要望あるいはご意見がありますか。</p>

委員	3歳児保育に向けてスタッフは十分確保できるのでしょうか。
事務局	人事課と任期付の正規採用について協議をしているところです。 園児募集については2月に募集をかけていきたいと予定をしています。
委員	2月に募集をかけて待機児童の200人を吸収できるのですか。せめて1年ちゃんと周知して、その前には私立に話もして、地ならしも全部してから待機児童の話をやっていく必要があるのではないのですか。 先ほども言いましたが、これはいつどこで誰が決めたのですか。この委員会では前回その話まで至ってないです。まして、2月から2か月間の募集で4月から。これから100日足らずでやる。そんなタイトなスケジュールで大丈夫ですか。さらに、募集も約60日でどれだけの周知ができるのですか。
事務局	どのような意思決定プロセスで決まっていたのか、過去の歴史から踏まえて申し上げます。 3歳児保育については、かつて市の中でもこのような委員会で、時期尚早という結論でした。ところが、保護者ニーズが幼稚園から保育所ニーズに高まっていく中で、市でもニーズに対応するための基本方針を12年ほど前に策定しています。その中では、幼保一体化を進める方針で、公立こども園事業を進めてきたという経緯です。 昨今はさらに女性の働き方が多様化しており、待機児童は減少していない現状です。確かに、私立の事業者さんとも、これまで保育所という立場で協力していただき、ここまで保育事業も進めてこれたという経緯がございます。ただ、なお潜在待機児童は減少となる見込みはありません。 こういった背景の中で、市民アンケートでも3歳児保育に対する希望が多数あったことから、本委員会の中で方向性を提案させていただき、前回の委員会では、委員から、統廃合とか園を休園することよりも、まずやるべきことは、教育委員会、市のほうがもっと努力して、魅力を高めていく必要があるのではないかと、速やかに対応すべきではないかと、というご意見を受け止め、今回事務局のほうで具体的に立案、計画をいたしました。
委員	そもそもこの検討委員会、スケジュールから答申が5月になっています。5月で答申を出すのに、それまでにいろんなことをどンドン決めていくというのは順番が逆で、5月に終わってから議会に出して決定して実施していくというのがそもそもこの委員会の流れではないかと思いますが、どうでしょうか。
事務局	教育長からの諮問で検討していただく幼稚園、保育所の在り方について様々な検討をさせていただいております。

	<p>ただ、答申後に進めていくと、時間がかかることとなります。昨年10月、幼児教育の無償化がありましたが、現状の幼稚園の園児数がこの4月で100人、来年の4月では70人ほど減少するという見込みです。その結果、市全体で350人ほどの園児数になってしまい、各幼稚園1クラスずつしか年少、年長がないという、子どもたちにとっての環境が急速に悪化しているという現状です。</p> <p>そんな中時間をかけてよいのかと考えております。</p> <p>これまで3回の検討委員会で、まずはやるべきことをやらせてもらえたらという委員のご意見を十分に認識して提案しています。</p>
委員	<p>要するに、手順を飛ばしますということですね。なるべく保護者ニーズに応えなきゃいけないということは理解しますが、実際に私立の人員が減ったとき、どうやって補償・補填のお話をされるつもりですか。仕方がない、時代の流れという済ませ方をされるつもりですか。</p> <p>委員会で我々が答申を上げ、議会が判断して行く、これは責任の分担をしているわけです。責任の分担をやっているにもかかわらず、その手順を飛ばすということをおっしゃったように思っています。それは、この委員会自体だけじゃなく、議会に対しても、ちょっと軽く見ているのではないかと。保護者ニーズに対応しなきゃいけないのは分かります。しかし、それは民間のやることです。</p> <p>公立である以上、その辺はよく考えたほうがいいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>まず、前回までの議論で3歳児保育の実施について、資料も見ていただきました。3歳児保育をこれから公立幼稚園でも実施したいという話の中で、データもお示しして、まず私立保育園、幼稚園、認定こども園に通園していないと考えられる3歳児人口を対象に考えていきますということで説明いたしました。その令和2年度の合計値は542人で、令和12年度の合計値は446人という推計となりました。それを園区で割っていくと、おおむね30人程度の通っていないと思われる3歳児の方がおられることとなります。そういった状況の中、公立幼稚園で3歳児保育を実施して掘り起こしていきたいと考えています。</p> <p>そのことによって、櫃原市全体の就学前の保育、教育の魅力が高まって、場合によっては流出していく子育て世帯を引き止めたり、あるいは逆に流入してくるといったようなことも期待できるんじゃないかならうかと思われれます。</p> <p>公立幼稚園での3歳児保育は、そういった方々を対象として実施していきたいというお話をさせていただきました。</p>
事務局	<p>併せて、周知期間の不足は否めない話だと考えています。ただ、その分、十分に周知ができる努力はしていきたいと思っています。</p> <p>また、まずは3園で実施することで、そのニーズが本当に高ければ、翌年以降に枠を広げるということも視野に入れて考えていかなければならないと考えます。た</p>

	<p>だどれだけのニーズが潜んでいるかは、数字で何人とかかめないものです。3歳児保育のニーズは非常に高いというアンケート結果がありますが、実態の数までは読めません。</p> <p>そんななかで、待機解消に向けての一步二歩と歩みを進めていきたいと考えています。</p>
事務局	<p>運営の実施体制ですが、預かり保育の延長については、現状の体制でほぼ対応はできると考えています。ただ、3歳児保育を検討している3園については保育士不足の状況下で、新たに追加募集を行い、職員の待遇改善も検討する準備も進めています。</p>
委員	<p>基本的な考え方としては3歳児の待機児童をターゲットに行うということですね。では、先ほど委員がおっしゃっていた、実際田原本町で行われた際に私学で1クラスが減ったという事象はどのようにお考えですか。民業圧迫と言われませんか。あと、現在待機児童の3歳児の保護者の意向というのは調査されたのですか。</p> <p>また、先行する3園を決定したプロセスはどうなっていますか。</p> <p>これだけ大きな政策転換のタイミングで、これだけ意思決定プロセスが不透明で、それをなおかつあと100日足らずでやりますと。しかも、今まで協力してきた私立さんに何の説明も協議も納得もない状態で見切り発車し、その上議会も承知していない中で、勝手に予算をつけて大丈夫ですか。</p>
事務局	<p>先ほどから私立さんの連携というご意見について、今回の審議事項については、後から聞いてなかったということになってはいけませんので、私立から代表で出ていただいている先生を中心に、お集まりいただく機会を設けたうえで、ご報告する機会をつくってきています。</p>
会長	<p>これまでのご意見は、それぞれの立場でもっともな話です。どれがどうというのは、立場で評価が変わってこようかと思いますが、この本委員会で、事業の可否については関わらないのが委員会です。</p> <p>委員会としてはこういう方向でやるべきであると。その具体的なものにつきましては、それぞれの担当部局でいろいろご議論されて、地元交渉等々必要だったらすればいいと思います。</p> <p>皆さん方のご意見を尊重していかなければならない一方で、いろんな民間団体などの要望を行政は要望を聞くばかりで何もしないというふうな流れも1つあります。</p> <p>また一方では、私立の幼稚園、保育所からのご意見があったように、個々の問題、園として生き残れるかどうか。それぞれ経営者は高い理想を掲げて経営をしておられますけれども、来る人がなかったら理想は実現できない、それをどう確保してい</p>

	<p>くか。これらを事務局で決めるというのは非常に難しいところがありますね。</p> <p>そういう点で、私が申し上げたいのは、可否について答申内容にはありませんので、我々はあくまでも就学前教育の現状をどう打開していったって、将来の檀原を担う子どもたちの育成に当たるか、この諮問について検討を進めてはどうかと思います。</p> <p>往々にして、私立のほう教育内容を頑張っていて、公立のほうは公立のままとなっている。これが一番マイナス面になると思います。だから、これで市立が来なくなったら市立が潰れたらいい、無理に残さんでもいいと、そんな論法で話をしていたと思うんです。</p> <p>事務局もある程度しんどいところがあると思いますが、円満にいったって、しかし結果的によかったなということが言えるような施策にならないと、行政としては税金を使ってやるからには失敗できない。だから、その辺は慎重にやらなければならないと思うので、私学との話し合いは早急に協議していただき、予算・施設のことは再度考えていただければと思います。</p> <p>色々な意見がありましたが、基本的には方向性に反対ということはないようですので、具体的に進めなさい、やめなさいというのは、本委員会として言う話じゃありませんので、どちらになっても進めていただければと思います。委員の皆さんどうでしょうか。</p>
委員	<p>P T A、親の立場として一言ご意見させていただきます。</p> <p>今回問題になっている3歳児保育の充実や保育の充実について、親の立場としては、アンケートのとおり早急に対応していただくことが希望・現実ですし、ニーズもあります。今回やっていただく部分については、なるべく早くやっていただきたいというのが親の立場からの意見です。</p> <p>ただ、先ほどからも出ていますように、安全面や施設面、あとは感染の部分、人員の部分というのが親の立場としては不安な部分であって、それを来年度からやるという部分に対しては、やっぱり一抹の不安があります。他にも私立事業者、議会ともしっかりと話をさせていただいたうえで、順序を追ってやっていただかないと、親も不安な部分はあります。</p> <p>ただ、やはり早く対応していただきたいというのがありますし、民間のほうもしっかりと協力をしていただいてやっていただきたいとも思います。</p> <p>話を聞いていると、何か勝手に進められているというような印象で、進めていただくのはありがたいのですが、しっかりと連携取っていただきながら、檀原市一体として、子育て世代のほうに保育の充実という部分で取り組んでいただきたいと思っています。</p>
委員	<p>どの意見も5つの対応策については必要なもので、急を要するものがあり、できることから取り組んでいくという意見は一致しているのかなと思います。</p> <p>既に私立の保育所、幼稚園では、3歳児あるいは2歳児の保育を手がけて、いろ</p>

	<p>んな手法を努力して身につけて思いますが、3歳児保育をするにあたっては、公立の幼稚園もそれに学んでいかなければならないと感じています。</p> <p>また、この手順、第3段階、民間活力の導入ということを含めて考えていくなれば、私立の幼稚園さん、保育園さんとの関係というのがしっかりとできていかなければ、第3段階には至っていかないのではないかと考えております。</p> <p>そういった意味で、差し迫ったものというのはしっかり説明していただいて、事務局にはそのあたりの不安を解消していただくように手だてをお願いしたいと思えます。</p>
委員	<p>どこの園も一緒ですが、先生たちも一抹の不安は覚えています。</p> <p>預かり保育につきましては、早急にやっていただけたらと思います。</p> <p>こども園で短時間認定のお子さんもお預かりしていますが、そのお子さんたちの保護者に関しては、仕事が9時頃から3時とか4時とか、パートタイマーで働いている人もいます。その時間帯に合うように幼稚園で預かり保育をしているなら、幼稚園に行くのではないかと考えています。</p> <p>また後からも出てくるかもしれませんが、集団保育ができない幼稚園、5人とか10人までとか、来年度については恐らく全て1クラスになってしまう。集団保育ができないことでの就学前保育の意味を考えていかなければいけないと思います。</p>
会長	<p>それぞれのまた違った立場でのご意見がありました。本日の審議に関わって、全般の部分については特にご異論ございませんか。</p> <p>今ご意見が出ているのは、3園についてこの4月から実施したいという事務局のつぶやきです。提案ではありませんが、これらに関わるご意見はいろいろ表明いただきました。それ以外の全般の方向性についていろんな方法はあるけれども、最終的にはこの5つで対応してみましようということについて、ご異論ございませんか。</p>
委員	<p>ずっと話を聞かせていただいて、今まとめに入っておられると思いますが、やはり対応策の3つ目、4つ目の公立幼稚園での3歳児保育の実施と預かり保育の拡充の対応策が引っかかっています。これらをどういうふうにしていったらいいのか、まずそこを議長として進めていただければありがたいなと思います。少しまだ意見があるんですけどもどうでしょうか。</p>
会長	<p>3つ目、4つ目について前回までそういうお話で進めさせてもらっていましたが、途中からそんな各個の並列の問題じゃなくて、総合的な問題というので話を切り替えさせていただきました。</p>
委員	<p>そこはよく分かります。もう少し審議をしていただきたいというのは、話が非常に中途半端になって、これを1から5番までこれで良いかと言われても、ちょっと</p>

	<p>判断がしにくいなと思います。</p> <p>もう1つは、市議会代表の委員がお見えになっていて、その中でちょっと拙速ではないかという話が出て、不信感を抱きながらご質問されているということから議会提案ができるのかなと少し不信感を持ちました。</p> <p>それと、今回はそういうものも含めて進めていきたいと思いますので終わっていましたが、今日になると具体的に4月からこうしたいという話が飛び出てきた。その間に何があったのか。我々委員としてはちょっとわからない点があります。皆さんの意見としては、もっと審議を尽くしたらどうかという意見が大半のようにも思いました。</p> <p>もう1つは、この3つの幼稚園の人数も教えてほしい。集団保育ができないような状態の中で、3歳児を取り上げていく、その中で集団保育ができやすいのでは、というような目論見があるのかどうか。そういうことも聞いてみたいと思います。</p> <p>あと、勝手に進んでいくような印象づけ、私たちは事業実施については言えない委員会であると話がありましたが、委員会を無視して勝手に進んでいるというような印象づけというのは、非常に残念に思います。</p>
事務局	<p>ご質問にありました晩成幼稚園、白樫幼稚園、あと真菅北幼稚園の令和2年度5月1日現在の園児数について申し上げます。晩成幼稚園の令和2年度の園児数は19人、白樫幼稚園の園児数は18名、真菅北幼稚園の令和2年度の園児数は28名となっています。</p>
事務局	<p>今後の市議会への説明については、本日のこの検討委員会の審議を経まして、早急に実施していきたいと考えていますが、先ほどから皆様方の議論もありますので、慎重に取り組んでいくべきものと考えています。</p> <p>ただ、幼稚園の現状を申し上げますと、非常に子どもの数が減っているため、前回のこの検討委員会の中でもできるところからという意見も頂きましたことから、できるだけ早期に取り組みたいということで、意思決定したわけでございます。</p> <p>議会へは明日に12月の議会の運営委員会がありますが、そちらで文教常任委員会の中なかで、3歳児保育の提案をさせていただきたい。それから全体の協議会の中で議員各位には説明をさせていただきたい。その前には、当然予算の審議がありますので、予算委員会でもそういった審議をしていきたいと現在考えているところです。</p>
委員	<p>やはり利用される保護者と子どもの気持ちが一番大事なのかなと思います。なので、子どもに対するリスクを考えると、あまりにも準備期間が足りないのかなという気がいたします。</p> <p>来年の4月までに人員を揃えていただいて、しっかりとしたハード面、ソフト面というのをやってもらわないと、利用される保護者の共感も得られないでしょうし、それがあってこそ私立とも話ができるはずだと思います。</p>

	<p>やるなどかやれとかいうのはこの審議会で決めることではないのかもしれませんが、やるならやるできちんとした納得をさせていただきたくです。少なくともここに今来ている人には納得をしてもらった上で進めてもらいたい。</p> <p>今回のこと一番の問題は不安です。保護者や私立の不安で、それを私達は敏感に感じているだけです。それらの不安をどうやって払拭するかを簡単に説明していただいたら、これ以上どうこう言う気はありません。</p>
委員	<p>真菅幼稚園のPTA会長をしていたとき、保護者の方はずっと3歳児保育をしてほしいということをしていました。幼稚園のアンケートをしたときでも一番多かったのが3歳児保育と預かり保育の延長、給食の実施です。</p> <p>実際4月から実施されるのであればありがたいです。しかし、今までいろいろお話があったように、全ての問題をクリアしていただかないと、保護者としても安心して入れられないのかなと思います。</p>
会長	<p>いろいろご意見を賜りました。いろんなクリアする部分というのはあろうかと思いますが、概ねこの問題につきましては、関係部署とよく協議いただいて、事務局としてお考えいただくのは今日出てきた意見、それを十分踏まえて、さあどうするかというご判断をいただくということでしょうか。</p>
委員	<p>集約する意見の中に入れておいてほしいのですが、知り合いから聞いた話では、大学生への就職先として私立よりも公立へ行けと、大学側がそういうふうに勧めていると聞きました。また、公立よりも今は大阪へ行けと。大阪のほうが給料がいいと。このような就職の流れになって、私たち私立の幼稚園も人数を集めるのに大変苦労しております。</p> <p>その中で、令和3年度からやると、先生が公立へ移ってしまう恐れもある。また、子どもも移る恐れがある。入園金とか一旦徴収したものでどうするかと、またそういう話を全部考えなければならない。無償化だからどんどん進めようと思われるのであればいいですが、私立幼稚園と市との付き合いは普段からあまり付き合いがありませんので、本当に説明する気があるのであれば、みんな集まって説明していただきたい。</p>
会長	<p>時間も迫ってまいりましたが、本日2番目の議題、パブリックコメントについてですが、本日の審議としますか。それとも次回に回しますか。</p> <p>一つの方法としてですが、3歳児保育と預かり保育の延長の来年度実施については、みなさんのご意見からたくさん課題が出てまいりましたので、それを踏まえてどうするかということ事務局でお考えいただく。それ以外の1から5までの5つの対応策については、前回のときに最後にまとめておきましたように、要するに5</p>

	<p>つをもって対応していくことでよろしいですか。</p> <p>方向性については、パブリックコメントをとって、市民の意見を聞いて、そしてさらに練って、具体策実施案になっていくと思います。</p> <p>パブリックコメントが遅くなれば遅くなるほど実施案が後ろへ下がっていつてしまうので、パブリックコメントのこれでやってよろしいかというあたりのところまで行っておくか、あるいはこれを次回にするか、どちらがよろしいでしょうか。</p>
委員	あと 15 分でパブリックコメントの審議とかできないですよ。
会長	では、パブリックコメントをする原案については次回に回す。そのデメリットは、後ろへスケジュールが延びていつてしまうが、やむを得ない。しかし、委員会が延ばしたということは非常に我々心苦しいところがございますので、中間でもう一回パブリックコメントについて審議いただく委員会というのはつくれますか。
事務局	スケジュール上、次回 3 月の設定ではございますが、日程調整のうえ、1 月にご審議いただけたらと思います。
会長	では次回、パブリックコメントの原案等に限って検討委員会を 1 月に開催するというご了解いただけますか。
	<各委員了承>
会長	あと 10 分ほどございますが、全般に関わってのご意見ありますか。
委員	先ほど申した心配事項に関して、4 月から 3 園で始まる幼稚園の 3 歳児保育につきまして、幼稚園の教諭の先生がもし集まらなかった場合、すでに応募している園児は一旦断るのか、それとも先生がいなくても実施するのかお考えでしょうか。
事務局	<p>今の 7 園については 4 時半までですので、現体制でいけるとと思います。その 3 園について、人事課とも協議の上、できるだけ正職員のほうで、任期付ではありますが、雇ってもらって対応していきたいと考えております。</p> <p>先生がいなかった場合については本当にこちらが心配しているところではあります。できるだけ努力をしてまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>それは私の質問に対する返答ではなくて、なかった場合の対応策はあるか、ないかを教えていただきたいです。</p> <p>というのは、正規職員で雇う場合、大学を卒業されている先生というのは、もうほぼ就職は決まっているかと思えます。その中で募集をする、園児も募集する、3</p>

	<p>園をするというふうな並列でいっている場合、片方がだめな場合、この両輪は成立しないわけですね。そのときに戻ることができるかできないかの判断を市は持つておられるかどうかのご質問をさせていただいています。</p>
事務局	<p>現在、人員の確保を確実に図っていきたいと考えているわけですが、もしという場合もございます。現在ほかの部署で幼稚園教諭の免許を持って働いている職員もおり、その中で確保していきたい。また、潜在的に家庭でおられる幼稚園教諭の免許を持っておられる方、免許の講習が終わられていない方もおられますので、そういった方にも声をかけさせていただいて、免許の講習を前提に雇用していきたいと考えています。</p>
会長	<p>そろそろ時間が参りました。本日意見のあった事項が不十分なまま実施するのであればいかがなものか。やるからにはちゃんとやってもらいたいということが委員さんのおおよその意見だったと思います。</p>
委員	<p>今後の大前提として、これからご提案いただくときには、事前に早め早めにここで報告事項としてお話しただけならスムーズに話がいくんじゃないか。審議事項ではなくても、審議に関わる内容については報告事項としてお話しただけなら、皆さん方も了解しやすいのではないかと思います。</p>
委員	<p>1つだけ、公立幼稚園の狙いとしては、待機児童を解消したいのですか、それとも潜在的に3歳児の通ってない子を就学させようと思っているのですか。</p>
事務局	<p>両方を狙っています。家庭におられる3歳児の子どもさんで保育の必要性のない方のニーズ、要望というのを酌み取りたい。一方で、待機児童として潜在待機が二百数十名と把握しており、この方々も受け入れできるような体制を考えております。</p>
委員	<p>パブリックコメントは、皆さん市民のご意見を聞くことなので、反対ではないということであれば進めていってもいいんじゃないかと思うところです。並行して進めていくというのはどうなのか。</p>
委員	<p>パブリックコメントはそれでいいと思いますけれども、心配になるのは現場の先生の意見を反映してほしいと思います。その辺を丁寧に、現場の先生方の意見とかそういうもののまとまったものがあれば、もっとみんなも考え方が変わってくると思いますが、いかがでしょうか。</p>

事務局	<p>順次、現場の先生に集まってもらって話をしてもらったり、組合を通していろいろご意見をいただいたりとか、させていただいております。</p>
会長	<p>100%の意見を収集するというのはなかなか難しいことですが、できるだけ幅広く代表者の方のご意見等々を収集した上で、どういうふうな方向でいったらいいかというのを、この5つの柱それぞれについて進めていくときもそういう配慮をいただけたらと思います。</p> <p>それでは本日の審議を終了します。本日はお忙しい中、ありがとうございました。</p>
4. 閉会 事務局	<p>以上をもちまして、第4回樞原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会を終了いたします。皆様長時間にわたりましてご審議いただきまして、またご意見をたくさん頂きましてありがとうございました。</p> <p>次回の委員会ですけれども、先ほど1月、2月というご案内をさせていただきましたが、皆様ご多忙かと思っておりますので、1月、2月に限らず、広く日程調整をさせていただきたいと思っております。そちらについては、また後日連絡させていただきますので、皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の検討委員会は終了となります。本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">《終了》</p>